

諏訪地方社保協 ニュース

諏訪地方社会保障推進協議会
2025年9月18日発行
12 - No.1
下諏訪町矢木町214 南信勤医協内
TEL: 0266-28-3071(代)
メール: suwasyahokyo2021@skhp.or.jp
ホームページ: “諏訪社保協”で検索

社保協第12回定期総会 「『全世代型社会保障改革』の 現在地と課題 ～医療政策のゆくえ」 寺尾 正之氏(日本医療総合研究所) に聞く



第一部 Zoom で講演する寺尾さん
社保協は8月28日、第12回総会
を下諏訪総合文化センターで開催し
ました。第一部は「『全世代型社会保
障改革』の現在地と課題～医療政策の
ゆくえ」と題し、日本医療総合研究所
研究員の寺尾正之さんの講演を聞き
ました。以下に要旨を紹介します。



総会であいさつする毛利会長 (8/28 下諏訪総合文化センター)

社会保障費削減を加速させる政府「骨太方針」は、医療・介護の給付削減と自己負担の「加速化改革」の「全世代型社会保障改革」によってすすめられていること、2月の「医療費4兆円削減、OTC類似薬の保険外し、11万ベッド削減」等の3党合意は自・公・維新に国民民主も同様で4党合意ともいえる状況で閣議決定された。これは「受益者負担」により「75歳以上高齢者医療の負担増」「介護利用料2割化やケアプラン有料化」等の国民負担増をさらに打ち出し、このままでは病院や介護事業所が地域からなくなる。

しかし、「医療へのアクセスは人権」であり、人間の尊厳を実感できる社会に進めるべきで、解決方向を探るにも「学び」は不可欠である。自己責任等で解決しないからこそ社会保障政策と制度がつくられてきた。日本は特に

OECD諸国の中でも、GDP比をみて社会保障にお金を使っていない国だ。大企業や高額所得者などは応分の社会保障への負担をしていない国であり、もっと要求をしていくことが必要。先の国会では、高額療養費負担引き上げに対し、当事者のがん患者らが声を上げ、戦後初めて衆議院通過後に実施凍結させた。こうした運動など、“事実の重み”の積み重ねで行政を動かしていくことが重要である。等、詳細にわかりやすくお話いただき、元気の出る講演会となりました。

中央講師による講演会は3年ぶりです。当日は急遽の会場変更や、センターの改修工事で入口が変更等のハプニングがあり申し訳ありませんでしたが、それにもかかわらず、リモート参加も含め約40名が聴講しました。

第2部は、議長に南信勤医協の西村専務を選出し、総会議事を行いました。

総会に先立って、毛利会長が開会あいさつを以下のように述べました。「今年の厚生労働白書にはこれまで無かった、社会保障の理念について憲法の生存権の規定から記載されるようになった。これは社会保障拡充のために大いに活用すべきだ。人口の1/4（2900万人）の70才以上の金融資産は648兆円と膨大になっている。格差の拡大で資産の無い方々も多いが、大企業の内部留保の活用はもちろんのこと、大金持ちの金融資産にも累進課税を行うことで、今後必要な社会保障財源に充てていくことが必要だ。そのためにも今日の寺尾さんの講演にあったように、現場の事実から切実な声を上げて社会保障充実の声を上げていくように頑張りましょう。」

その後、もうり栄子県議からの連帯メッセージが紹介され、

第12期役員のみなさん（○は新任）

会 長	毛利 正道	法律事務所こんには
副 会 長	○ 間宮 由美子	高教組諏訪支部
"	○ 村田 洋一	年金者組合諏訪支部
"	伊藤 和久	諏訪地域民医連労組
事務局 長	備前 光正	南信勤医協
事務局次長	花岡 進	健康クラブ泉の会
"	○ 田村 史進	南信勤医協
会 計 監 査	平林 愛子	新婦人下諏訪支部
同 上	山本 しのぶ	諏訪地域民医連労組

よろしくお願いします

・各地の活動報告から・

年金者組合・村田洋一さん：最低保証年金の実現のために運動。高齢者にとって年金は命綱。年金法基礎年金はマクロ経済スライドが継続され、分断をおおるのではなく、

諏訪労連・有賀剛志さん：新自由主義政策で非正規化、経済格差、貧困が進行している。諏訪労連は組合員数が減って活動が停滞した。今年6年ぶりにメーデーを200名で成功させた。9月、地区労連大会を開き、今後も社保協と一緒に活動をしていきたい。

新婦人下諏訪支部・増沢喜代子さん：下諏訪町では今年度から中3生に限って給食費無償にさせることができた。署名は1000筆目標で11月から2月の4か月で下諏訪町としては多い1261筆集めた。昨年2月に町長に提出し、「9千万円かかる。本来国がやること」等、回答だったが、昨年の町長選後の12月議会で、中三生から開始することが表明された。「義務教育はこれを無償とする」という基本法に基づくものであり、全学年に広げたい。



副会長（新）
年金者組合
村田洋一さん



諏訪労連
有賀剛志さん



新婦人
下諏訪支部
増沢喜代子さん

備前事務局長が活動総括、会計報告等行を行い承認され、25年度計画、予算、役員体制について提案しました。

25年度の活動の方向として

- ①**政権の大軍拡と社会保障費削減を許さず、憲法9、25条を一体とした平和と社会保障制度の拡充**
- ②**社会保障要求の実現、国民負担軽減要求を前面に、「社会保障は国の責任」を掲げ、国庫負担増の推進**
- ③**秋の自治体キャラバンを全自治体で推進し、社会保障要求実現**等を基調とし、

医療費4兆円削減、11万床削減、OTC類似薬の保険外しなどの政府「骨太方針」に反対し、諏訪地域の国保、介護の改善、福祉医療費の完全窓口無料化、75歳以上医療の負担2倍化許さない運動を展開する等のすべての議案が議決されました。

茅野市議会議員の伊藤勝さん

高額療養費の負担増の陳情は、6月市議会では委員会も、本会議も全会一致で可決され、国に意見書が提出された。「家族のガン治療で高額療養費制度に助けられた」と発言したら、複数の委員からも同様な経験が語られ全会一致採択に至った。

閉会あいさつ

間宮副会長（高教組支部長）

高校現場では10代の子もたちと接しているが、社会保障費の自己負担が増えたとこの子達の将来はどうなってしまうのかとの不安。高齢者も若年者もすべてが安心して過ごせる制度にするには、「学び」が不可欠であり、そうした活動も行っていきたい。と閉会しました。



茅野市議
伊藤 勝さん



副会長（新）
高教組諏訪支部
間宮由美子さん

今後の活動の主なもの

＜詳細はその都度お知らせします＞

- 9/20 中央社保学校
- 9/25 医療・介護・福祉に国の予算を増やせ！9.25いのちまもる総行動 日比谷野音（現地、Web）
- 9/25 訪問介護報酬引下げ撤回請願 広域連合議会意見陳述
- 10/6 くい止めよう介護崩壊、実現させよう処遇改善（中央社保協、全労連、民医連等、web 併用）
- 11/1 いのちまもる県民集会（長野市アクティヴ・ホール、Web 併用）自治体キャラバン要望書提出
- 11/10 介護・認知症なんでも電話相談（県社保協）
- 11/18 国保運動交流集会（県社保協：松本浅間、web 併用）
- 11/20 新介護署名第1次提出集会（衆議院第2議員会館）

速報 9/17 原村議会で社保協提出の「高額療養費の自己負担上限額の引き上げの撤回を求める陳情」は全会一致採択され、国への意見書提出になりました。茅野市、下諏訪町、富士見町につぐもの